

協議会だより

号外(2023年3月10日発行)

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会

上黒田上段地域活動組織(飯田市)が最優秀賞を受賞！

令和5年3月3日、さいたま新都心にある農林水産省関東農政局において「多面的機能発揮促進事業 局長表彰」の表彰式が行われ、長野県から推薦された飯田市の「上黒田上段地域活動組織」が、栄えある最優秀賞を受賞しました。

この局長表彰は、多面的機能発揮促進事業の優良な活動を表彰し、関係者の意欲高揚を図るとともに、同事業の推進に資することを目的に平成30年度に始まり、今年度は関東9県から推薦された9組織について審査が行われ、最優秀賞3組織、優秀賞6組織が決定したものです。

審査委員長を務めている筑波大学の石井敦教授から、活動の持続性、地域の活性化の状況、農村交流等の観点から総合的に評価した結果である旨の講評がありました。

表彰状の授与に続き、最優秀賞を受賞した3組織からそれぞれの取組について発表が行われました。上黒田上段地域活動組織の代表をされている岩崎守倫(もりつね)さんからは、遊休農地を活用した保育園児や非農家の農業体験(さつま芋の栽培)、収穫祭、伝統のしめ縄講習会等を通じて地域内の世代間交流が促進したこと、草刈り応援隊の結成を機に、地域の他団体との交流が深まり、地域の活性化に貢献できたことなど(次頁以降の資料参照)の話がありました。

最優秀賞を受賞されました上黒田上段地域活動組織の皆様、関係者の皆様、本当におめでとうございました。心からお祝い申し上げます。



事務局から

協議会は、多面的機能支払事業に関して、質問、相談を受け付けておりますので、お気軽にお問合せください。

■問い合わせ先
長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会(担当:小田切)
TEL 026-219-6351 FAX 026-219-6352
Eメール nagano-tamenteki@wonder.ocn.ne.jp
URL <http://www.nagano-nouchimizu.net/>



かみ くろだ

上黒田上段地域活動組織

(長野県 飯田市)



組織の概要

本活動組織は、飯田市の中央部に位置し、果樹を中心とした農村地帯です。

かつては農業関連の活動団体がばらばらで共同活動を行っていましたが、平成27年度に多面的機能支払交付金による活動組織を設立し、各団体間で連携した活動ができるようになり、集落をまとめあげる活動を継続して行っています。

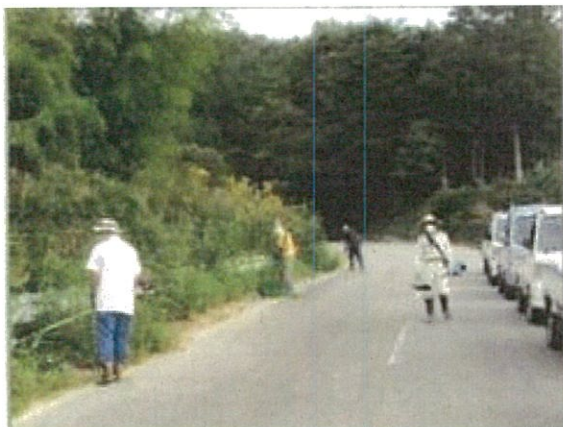
取組面積: 57.2ha(田15.0ha、畑42.2ha)



長野県

地域資源保全活動

○草刈りや水路の泥上げを実施し、非農家を含め多数の参加がある。



草刈り作業



水路の泥上げ作業

植栽等の景観形成活動

○農道沿いに花桃、さつきの植栽や、遊休地を活用してひまわりの植栽活動を実施している。



農道沿いに植栽した花桃



遊休地に植栽したひまわり

地域住民等との交流活動

○遊休地を活用して、保育園児や非農家の農業体験、収穫祭や伝統のしめ縄作り講習会を開催するなど高齢者との世代間交流を行っている。



保育園児の農業体験



地域住民との収穫祭

施設の維持管理と資源向上活動

○地域内の様々な農業関連団体は、多面的機能支払交付金の活動組織を設立したことを契機として、各団体間で連携して活動を実施している。

【竹炭会】

遊休地にひまわりをまき、向日葵油を作るなど新たな地域の特産物作りに取り組んでいる。



【美味しんぼ倶楽部】

地域の女性を中心となって結成。遊休地を活用して非農家とさつまいもや大根の農業体験を実施している。



【そば生産組合】

遊休地に当初はそばを栽培していたが、現在ではもち米を栽培し、地域の交流会でふるまっている。



【農業塾NEXT】

高校の同級生が中心となって結成。野菜の栽培や味噌造りをするなど新たな特産物づくりに調整している。



【草刈り応援隊】＜結成＞

非農家も加え結成。遊休地になりにかけている農地や土手の草刈りが間に合っていない場所が近年増加傾向になっている。そのような場所に出動する団体の設立を検討している。（一部試験的に実施中）



地域内の農業関連団体

取組の成果

○農業体験を通じての農業への理解の醸成、収穫祭や伝統のしめ縄作り講習会による世代間交流など、地域内の世代間交流が促進されている。

○多面的機能支払交付金による活動組織を設立したことを契機として、農業関連の各団体間で連携した活動になり、また、新たに草刈り応援隊が結成されて広報誌により他地域からの参加者を募集するなど、各団体間の交流を深めながら地域の活性化に貢献している。